



クラス編成
0歳児・・・6名
保育者・・・2名

前月末の子どもの姿
●完了食に移行した子が多くなり、食べ物の好き嫌いははっきり出す姿もある。意欲が持てるよう日々誘いかけること、徐々に苦手としていた食べ物も食べるようになってきている。
●友達存在や名前に興味を持ち、手をつなぎたがったり、友達の姿を近くでじっと見たりするなど、友達とかかわりたい気持ちが高まっている。
●園庭の遊具に登ったり滑ったりすることを楽しんでいる。スコップやカップで砂遊びを楽しむ子もいる。

今月のねらい（◎養護 ○教育）
◎さまざまな食材に慣れ、食事を楽しむ。
○冬の外気に触れ、体を動かして活発に遊ぶ。
○保育者や友達の姿を模倣したり、かかわろうとしたりする。

子育て支援
●感染症が流行しやすい時期なので、園内で発生した際はメールなどで早めに情報提供を行い、家庭でも気にかけてもらうようにする。
●年末年始の休みで生活リズムの崩れが予想されるので、無理なく生活リズムを取り戻せるよう配慮する。

環境構成
●園庭では遊具に登ることを楽しむが、まだふらついたり、友達と押し合いになったりすることもあるので、ケガのないよう近くで見守っていく。

保健衛生
●エアコンや加湿器、空気清浄機を使用しながら、快適な温度（20～23℃くらい）と湿度（60％くらい）に保てるように調節していく。
●登降園時に子どもの健康状態を家庭と保育者間で共有し、感染症の早期発見に努める。

	内容	環境構成（○）と援助・配慮（◎）
養護と三つの視点 身近なものや関わり感性が育つ 身近な人と気持ちが通じ合う 身近かに伸び伸びと育つ	●保育者に励まされながらいろいろな食材を食べてみようとする。 ●戸外に出る際には上着を着て靴をはくという流れがわかり、自分の持ち物に興味を持つようになる。 ●冬の空気や風の冷たさに触れ、冬を感じる。 ●戸外やテラスで固定遊具に登ったり滑ったりすることや、砂遊びや追いかけっこなど、自分の好きな遊びを楽しむ。 ●友達の遊びや動き、持っている玩具に興味を持ち、自らかかわろうとしたり、まねたりして遊ぶ。 ●チェーンやお手玉をお椀に入れて食べ物に見立て、保育者や友達に渡したり食べさせるふりをしたりして遊ぶ。 ●好きな絵本をくり返し保育者に読んでもらい、興味のあるもの（動物、乗り物、食べ物など）を指さしたり言葉をまねたりするなど、保育者とやりとりしながら楽しむ。 ●好きなわらべうたのリズムに合わせて体を動かしたり、友達と手をつないで揺れたりしながら楽しむ（「こりゃどこの」「うまはとしとし」）。	◎苦手な食材も食べてみようと思えるような言葉で誘いかける。少しでも食べられたらたくさん認めることで、意欲を持たせていく。 ◎ひとりずつに声をかけ、これからやることを丁寧に伝えながら準備を行っていく。 ◎体調に留意しながら、戸外遊びの機会をできるかぎり保障していく。空気や風の冷たさ、寒さに言葉を添え共感していく。 ◎まだ転倒などをしやすいので、大きなケガにつながらないように注意して遊びを見守っていく。 ◎人とかかわることが楽しいという気持ちに言葉を添えて共感し、かかわりを見守っていく。 ○チェーンやお手玉は壊れたところや破れたところがないか、毎回点検する。 ◎子どもの指さしや言葉での反応に丁寧に言葉をかけていくことで、一緒にゆったりと楽しんでいる。 ◎子どもの「やりたい」という気持ちを受けとめ、一緒に楽しんで共感していく。
	ひなちゃん（1歳4か月）	りく君（1歳7か月）
子どもの姿	●野菜が苦手で見ただけで遠ざけていたが、保育者に介助されてそのおいしさがわかると、自分でも手づかみで食べようとする。日によってムラはある。 ●友達が気に入り、友達をひとりずつ指さして保育者に訴える。「○○君だね」と名前をいってもらうと、また次の友達を指さしている。 ●はっきりしない言葉もあるが、「これ」「パパ」「もういっぱい」など、本児なりにまねて伝えようとしている。	●玩具の中でも特に車に興味を示し、友達が使っていたら取る姿がある。また、自分の行きたい場所に友達がいると体で押して「どいてほしい」とアピールをする。 ●遊びながら喃語（なんご）をよく話すようになる（マンマン、パパ、レロレロ）。訴えたいことがあると指をさし、「んーんー」とうなって伝えようとする。 ●戸外では保育者から離れ、探索を楽しむようになる。
ねらい	●いろいろな食材の味やおいしさを知り、すすんで食べる。 ●友達の名前や遊びなどに興味を持ち、かかわることを楽しむ。 ●自分の思いや関心のあることを一語文で伝えようとする。	●自分の気持ちを体で思いきり表現する。 ●喃語で話すことを楽しむ。 ●戸外遊びの楽しさがわかり、好きな遊びを見つけて遊ぶ。
かかわりと配慮 保育者の	●いろいろな食材を楽しく食べられるよう誘いかけ介助していく。手づかみで食べる経験をたくさん重ねられるよう見守っていく。 ●友達がいてうれしい気持ちに共感していく。友達に手が出ることが少し減り、頭をなでる、玩具を「どうぞ」と渡すなどの姿も増えてきているので、引き続きかかわり方を知らせたり、認めたりしていく。 ●思いを汲み取り、言葉を添えたり反応を返したりすることで、伝わる喜びが味わえるよう手助けしていく。	●思いを受けとめながら、友達が使っていることも知らせ、「かして」のやりとりを保育者が手本となり見せていく。取り合う姿も子どもの様子に任せ見守っていく。 ●話したいという気持ちを受けとめ、汲み取りながら代弁して言葉にする。伝わる喜びを感じ、発語への意欲がわくよう手助けする。 ●引き続き戸外での様子を見守りつつ、一緒に探索をするなどして、戸外遊びの楽しさを味わえるようかかわっていく。



「食べる」を通して ～一人ひとりのステップアップ～

～食感や味をしっかりと感じて～

あかねちゃん（1歳1か月）は中期食に移行しようと、夏ごろにペーストに刻みを混ぜたものを数回与えてみましたが、口に入れると吐きそうになるほど拒否してため、無理はせずにペーストのまま食材の味に慣れることを大切にしてみました。なかなか中期に進めず「そろそろ中期でもいいのでは、とまわりにいわれるが大丈夫だろうか」と保護者も心配されていました。しかし、あかねちゃん自身の準備が整わないうちは、こちらが焦っても進められるものではありません。「あかねちゃんのペースを大切にしましょう」と保護者に伝え、ゆっくり見守っていくことを話し合ってきました。徐々にですが、苦手な食材（ジャガイモなど）も舌ざわりや味に慣れ、よく食べるようになりました。形状の変化にもだんだんと慣れ、自分の食べたいものを声で要求するくらい積極的になっていきました。形状を変えていく過程では、そのつど今はどのくらいの形状で食べられるようになってきたかを保護者に伝え、家庭と園で同じペースで進められるようにしていました。

年明けからいよいよ中期食が始まり、あかねちゃんは指をさして「これが食べたい」と訴えます。年末年始で手づかみ食べにも興味を持ち始めたようで、園でも皿から食材をつかみ、口へ運ぼうと頑張っています。自分で食べる経験をた

くさんしてほしいと思い、食材の大きさも手づかみやすいサイズに変えましたが、自分で口へ運ぶからなのか、大きさが変わったことにはもう抵抗がないようでした。年末から年始にかけて家庭でゆっくり過ごし、食事への意欲がぐんぐんと育ってきています。

～自分で食べる～

たいよう君（1歳1か月）は中期食を食べています。おかゆはどんどん食べますが、野菜のおかずは口から出してしまいうことが多く、食べやすいように少し潰したり、おかゆと混ぜたりしていました。先月くらいから野菜のおかずもモグモグとよく口を動かして食べるようになり、以前よりも食事に集中する姿が見られます。今月に入ると、少しずつ食材をさわる姿も出てきました。しかし、自分で食べられるよう声をかけて促すものの、食材を自ら口へ運ぼうとはしません。もう少し時間がかかるかと思っていたところ、月末ごろには手づかみ食べにも慣れ、完食も増えました。

～これは好き、これは嫌い～

ひなちゃん（1歳4か月）は先月から完了食を食べています。後期食まではほぼ毎日完食していたひなちゃんですが、完了食になってからは好き嫌いが出てき

ました。好きなものは手づかみで黙々と食べますが、嫌いなものは皿ごと遠ざけ、介助しても口から出してしまいます。「おいしいよ」と誘いかけて促してみますが、ひなちゃんの意志は固く、なかなか口は開きません。そんなときは無理にすすめず「食べたくない」という気持ちを受けとめます。しかし、くり返しそやうって手助けしていくと「今日は食べてみようかな」と思うタイミングもあるようです。少しでも口にできたことをほめると「今日も食べようかな」と思ったり、「おいしいんだ」ということがわかってふた口目からは自分で食べたりすることもあります。このようにくり返してきたことで、見ただけで嫌がるものが減り、野菜にも少し興味が出てきたように感じます。

評価

離乳食の進め方は、一般的な月齢の目安はあるものの、それだけでステップアップができるか判断するのは難しいものです。特にこのクラスの子どもたちは、離乳食に関してはペースがゆっくりでした。食材の形状や大きさは、大人にはささいな違いですが、まだ食べることを始めて間もない子どもたちには、その少しの違いがとても大きな壁になることもあります。それだけ味や口の中の感覚に敏感なのでしょう。保護者の焦る気持ちや心配にも寄り添いながら、子どもからのステップアップのサインが出てくるのを待ったことで、年明けからそれぞれの子に成長を感じる姿が見られました。

新幼児と保育

2023年 冬号

別冊ふるく

より掲載

公式サイト
「みんなの幼児と保育」